

質 疑

発言者 藤 沢 やよい

発 言 の 要 旨
議案第110号 令和8年度高松市一般会計補正予算（第3号）について
(1) 南海トラフ地震等総合対策事業費1,169万2,000円、債務負担行為4,378万6,000円
① イタリアのようなスフィア基準に基づく避難所運営についての所感と、熊本を見ても日本は遅れているが、国に改善を求める考え
② 現在の備蓄状況と、災害が発生したときの対応
③ 備蓄・物流拠点をつくるメリットと、1か所集中型で、必要なものを迅速に避難所に配布されるのか。
④ 建物解体から施設建設まで想定される事業費
⑤ 病院跡地で土壌汚染の心配はないのか。
⑥ 解体時の騒音や道路の混雑など、地元住民への丁寧な説明会開催の考え
⑦ 避難所を併設した複合施設をつくる考え
⑧ 当施設が被災し、県道——塩江街道が通れなくなる場合の対応を、どのように考えているのか。
⑨ コミュニティセンター等に分散して備蓄できる場所をつくる考え
⑩ 地震や豪雨災害等が頻発している状況から、前倒しで急ぎ整備する考え
(2) 福祉保健系帳票作成業務委託料、債務負担行為1,370万円
① 課題とされていた人材確保の状況と、健診の実施体制
② アンケートは、どの時期にどういう方法で実施するのか。
③ アンケートの回答方法
④ アンケートを返さない保護者へのフォローを、どのように行うのか。
⑤ 保健センターに、相談できる専門家が常駐しているのか。
⑥ 支援を必要とする幼児と保護者のフォローを、どのようにしていくのか。
(3) 学校給食調理場整備事業費、債務負担行為2,599万3,000円
① 老朽化し使えなくなった時の対応を、どのようにするのか。
② 給食センターではなく、災害時の炊き出しもできる自校・親子方式で整備する考え